

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.22-68
2022年 12月23日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保破棄・革新懇 12・23 合同街頭宣伝

「安保3文書」許さず、閣議決定撤回を 税金は軍拡でなく国民生活に

安保破棄・革新懇の宣伝
(東京・新宿駅西口)



「戦争国家づくりへの暴走『安保3文書』具体化許さない、閣議決定撤回を」革新懇・安保破棄 12・23 合同街頭宣伝が安保破棄中央実行委員会、全国革新懇、東京革新懇の3団体主催で23日、北風が強く吹く中、東京・新宿駅西口で40人を超す参加者で行われました。

宣伝では、五十嵐仁法政大学名誉教授、

翻訳家の池田香代子さんの両全国革新懇代表世話人、安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長、東京革新懇の今井文夫事務局長、日本平和委員会の千坂純事務局長、全労連の小畑雅子議長がマイクを握り訴えました。

安保中央の東森氏は、岸田政権の安保3文書改定は防衛政策の大きな転換であり、「台湾有事などを煽って敵基地攻撃能力保有することは、専守防衛を投げ捨て戦争する国づくりだ」と強調。物価高騰などで国民生活が苦しい中、高額兵器導入などの大軍拡ではなく、外交努力で軍事に頼らない平和の枠組みを国民的な運動で作り上げることが求められていると訴えました。

通行人がビラを受け取り、「軍拡より生活費に回して」と訴えてきた人がいました。

「基地とPFAS汚染は隣り合わせ」宜野湾で報告会（琉球新報12/19付）

人体に有害とされる有機フッ素化合物（PFAS）が米軍基地周辺から高い値で出ている問題で、住民団体が独自に実施した血中濃度検査の結果に関する報告集会在18日、宜野湾市野富の宜野湾市民会館で開かれた。検査に関わった京都大の原田浩二准教授（環境衛生学）がオンラインで結果を解説し、PFASが水道水を介して人体に蓄積されている可能性が大きいと指摘した。その上で、最新の研究を踏まえた基準の設定や水道水だけではなく土壌、食品といった曝露（ばくろ）の経路の特定、行政による長期的、広域的な疫学調査の実施を訴えた。（後略）



石垣島平得大俣の陸自ミサイル基地建設工事現場（22年1月）

「自衛隊関係者によると、有事には相手のミサイル攻撃などを回避するため、指揮官らによる作戦調整や現地での指揮機能を担う作戦室として使うことが想定される」と報じています。16日に閣議決定した安保関連3文書改定は、「持続性・強靱性」を高めるために主要な司令部などの重要施設の地下化が述べられています。石垣駐屯地の工事は2019年3月から始まり、3文書改定に先立ち、駐屯地の地下化を進めていたこととなります。駐屯地には、警備部隊や中距離対空・地对艦ミサイルなどの部隊約570人を配置する予定で、弾薬庫4棟を地上に造り、土で覆います。

石垣島

陸自駐屯地に地下司令部

重要施設建設を安保3文書に

沖縄 東村の県道で米軍大型車 民家の塀を壊す

沖縄県東村の県道70号線で12月16日、米軍の大型トラックが民家の塀に衝突する事故を起こしました。この事故でけが人はいみせませんが、コンクリート製の塀が崩れてしまいました。路上に油のような物が流出しました。事故現場の付近を走行中の救急車両は、高江から名護市の病院に患者を搬送中でしたが迂回する事態となりました。

米軍事故車が自走できなくなり、数時間、県道の通行が規制されました。東村の県道70号線では、米軍車両などによる事故が頻繁に起きています。米軍基地さえなければ、このような事故は起きません。